



大鹿村の夜空を花火で彩りました！

色鮮やかな美しい花火
が夜空を彩りました！



写真提供：大鹿村役場

長かった酷暑もお盆を過ぎて少し和らぎ、朝晩は涼しさも感じられる季節になりました。8月14日は、3年ぶりの大鹿夏祭りの開催予定でしたが、新型コロナウイルスの急速な感染拡大の影響により屋台の出店やイベントは中止となってしまいました。しかしながら、会場の大西公園からはたくさんの方々が打ち上げられ、大鹿村の夏の夜空を彩りました。付近の山や谷に反響しダイナミックな花火の音も響き渡っていました。

珍しい形の花火も打ち上がり楽しませてくれました！



小渋川砂防出張所管内の工事業者により構成されている『大河原砂防工事安全協議会』からも花火への協力をさせていただきました。

特大スターマイン 大鹿村を守る砂防事業 大河原砂防安全協議会 の心意気！

- (株)吉野組
令和4年度小渋川砂防管内整備工事
- 大協建設(株)
令和3年度塩川床固工事
- 小澤建設(株)
令和3年度塩川上流床固工事
- 福美建設(株)
令和3年度矢立木砂防堰堤補強工事

番付提供：大鹿村商工会

裏面もご覧ください！

アレチウリの駆除作業を行いました！

アレチウリとは…

原産地は北アメリカで、日本では1952年に確認され、輸入された穀物に種子が混じって渡来し拡大したと考えられています。ほぼ全国に移入分布しています。キュウリやスイカなど他のウリ科の植物と同様に長いツルを伸ばします。ツルは長いもので10m以上にもなります。この長いツルで他の植物に覆いかぶさり、現存する在来植物の生育を妨げてしまいます。原産地では小麦や大豆、牧草に覆いかぶさるので嫌われ者となっています。特定外来植物に指定されており駆除が必要ですが、薬剤のみの防除は難しく、根を抜くなどの防除法が必要となります。大鹿村ではあまり見受けられませんが、天竜川の河川敷付近ではいたるところで生息が確認されています。



再び生息しないよう根元から抜き取ります。

特定外来種：アレチウリ

小渋川砂防管内で工事を施工する4業者（大協建設、吉野組、小澤建設、福美建設）からもアレチウリの駆除作業に参加しました。7月末に駒ヶ根市で行われました。現存する在来植物や生物を守るためにも大事な活動だと改めて感じました。

工事現場での熱中症対策を紹介します

まだまだ残暑が厳しい日々が続いています。夏期は、炎天下の下で暑さと戦いながら作業を行っています。様々な熱中症対策を行い現場従事者の熱中症防止に努めています。



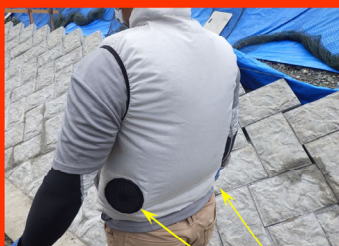
簡易休憩所の設営
気温・暑さ指数(WBGT)の見える化



気温28℃以下になると自然凍結する
ネッククーラー着用



飲料水の常備



ファン



充電式ファンベスト着用
ベストの2箇所についているファンから送風し
衣服内の温度上昇を抑えます。



ベストの内側



バッテリー

ファンを回す電力は、ベストの内側に充電式の
バッテリーが設置されています。
送風の強弱を4段階に変えることができます。